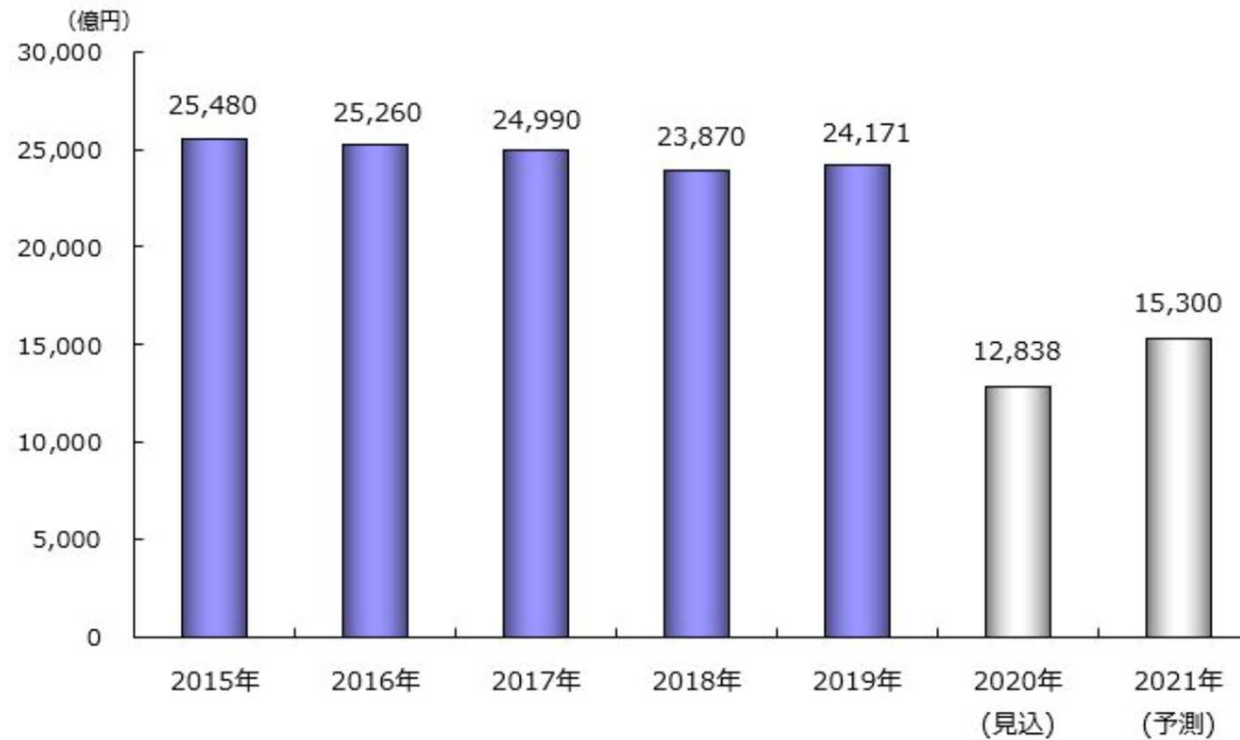


アンケートご協力をお願い

BMCA 会員No.0770 西川 良子

ブライダル関連市場*規模推移



矢野経済研究所調べ

注1. 事業者売上高ベース

注2. ブライダル関連市場規模は、挙式披露宴・披露パーティ、新婚家具、新婚旅行、ブライダルジュエリー、結納式・結納品、結婚情報サービス・仲介業の主要6分野を対象とする。

注3. 2020年見込値、2021年予測値

関西の司会事情

コロナ禍において激変したブライダル業界でわずかながら施行数は回復傾向にあるが、その数字に司会業務が比例していない。

- 日程変更をした新郎新婦が規模を縮小している
- フォトウェディングにしてキャンセル料金を消化

超（スーパー）ジミ婚時代到来
司会業務は淘汰が進む

ここで司会のみなさまにお願い

アンケートにご協力をお願いいたします。

なぜ司会者調査？



ブライダルの研究は民俗学歴史学的アプローチで行われてはいるものの、社会学や人間科学の文献は決して多くはない。コロナ禍で注目されているホスピタリティやツーリズムの研究分野から俯瞰すればブライダルや、ブライダル司会者の存在意義は大きい。そこで、第一線でご活躍の皆さまの声を聞き、学会での発表を行い、論文に記す予定です。

アンケート内容

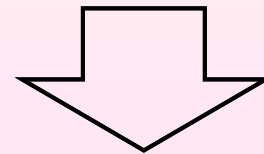


司会者の意識

披露宴における司会者の立ち位置

会場、施行事業者との関係性

新郎新婦との距離などを質問します。



その先

- ホテルのブライダル部門縮小
- リゾートウエディング事業撤退
- ハウスウエディング会場のスクラップアンドビルド
司会が求められていることを（少しずつですが）
考察したいと考えています。

こちらから回答をお願いします



<https://forms.gle/TYicHded5y5hkzuW7>

※アンケートのご回答は任意です。

個人情報などを収集する目的ではありません。

11月末までアンケートサイトを開けております。

貴重なお時間をいただきありがとうございました。